



議員 有事の際に市民へ避難情報をどのように迅速に伝えるのか。
市長 旧町地区には同報系の無線がありますが、型式が古くJアラート（全国瞬時警報システム）と自動連携出来ないため、ミサイル発射情報など短時間での対応を求められるものには活用が難しい状況となっています。一方、近年は携帯電話等の普及でより多くの方が緊急速報メールやエリアメールで情報を入手できる環境となつています。また当市では駒らん情報めーるをJアラートと連携し自動発信できるように整備し行っています。

有事の際の市民への伝達方法の早期対策を

情報発信体制を検討し 早期に方針を決める

それぞれの特性を組み合わせた形での情報発信体制について検討しています。情報収集結果と分析状況をもとめ、早い時期に方針を決定したいと考えています。

議員 公共施設のエレベーターに非常用備蓄物資の収納やトイレとして利用できる防災椅子を設置しては。

総務部長 災害発生時には、閉じ込めなど不測の事態が想定されるため、今後庁舎への設置を検討していきたいと考えています。

議員 住民票等のコンビニ交付サービスの導入を費用負担が大きいとの理由で見送っているが、再検討の状況は。

民生部長 当市での交付予想枚数は年間約二千枚で運営経費が年間約一千

万円となることから、一枚当たりの交付単価は約五千円となります。依然として高額であるため引き続き今後の動向に注視していきたいと考えています。

議員 開庁時間内に来庁できない方への対応は。

民生部長 郵便による請求を受け付けているほか、毎週月・金曜日は市民課窓口を午後六時まで延長し、住民票、印鑑証明、戸籍証明等を交付しています。



日中來られない方はぜひご利用ください

働く女性のために 子育て支援の充実を ニーズに応える 環境整備が重要



議員 働く女性にとつて最大の難関は子供の病気である。当市で病児病後児保育を実施しているのは一カ所だけで定員も少ない。施設数をふやしてほしいとの声もあるが、市の方向性を伺いたい。

健康福祉部長 保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全な育成に資するための事業の一つとしてニーズに応える環境を整えることが重要と考えています。年間七〇〇人から八五〇人が利用需要が大きいことから、今後の児童数の推移や利用ニーズ等を踏まえ、増設の必要性を判断していきたいと考えています。

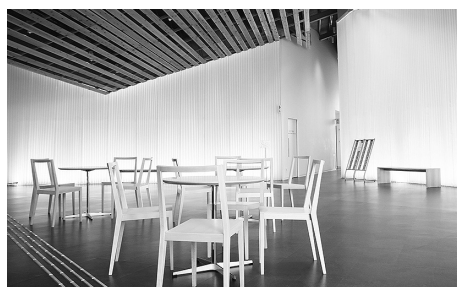
議員 子供の病気を予防するために、おたふく風邪等の任意予防接種に助成する考えは。

健康福祉部長 現在、国では定期接種化に向け審議されているので、その動向を見ながら調査研究していきたいと考えています。

議員 市民交流プラザのエントランスホールは中高生の学習の場となっているが席が少ない。使用されていない部屋を開放しては。

市長 ホールが混み合うような場合には、比較的使用予定がない部屋を開

放することを検討したいと考えています。



タワーのエントランスホール

議員 指定管理者制度の導入から十年以上経過したが課題と方向性は。

総務部長 対応が可能なものは速やかに改善を重ねているため大きな課題はないものと認識しており、引き続き適切な運用に努めていきたいと考えています。

議員 定期的にヒアリングをする考えは。

総務部長 定期モニタリングの際に情報交換の場を設けてほしいなどの要望等もあり、その内容に応じ適宜対応しています。

健康福祉部長 保護者の子育てと就労の両立を支